

# うなばら



発行：新潟市立五十嵐小学校

新潟市西区寺尾西 4-23-1 (〒950-2064)

Tel.025-269-3117(代) Fax.025-269-3118

E-mail : e710ikarashi@city-niigata.ed.jp

HP アドレス : <http://www.ikarashi-e.city-niigata.ed.jp/>

題字：第10代校長 小池守夫 様

## チョコ

校長

チョコがなくなりました。

飼育委員会が世話をしてくれていたウサギのチョコが天国に逝きました。

チョコは、2月頃から病気にかかり、上手に立つことができなくなり、えさを食べることも難しくなりました。

でもチョコは、何度転んでも自分で立ち上がろうとがんばっていました。体をケージにぶつけてもえさを食べようとがんばっていました。

子どもたちも職員もチョコを心配して看病しました。寒い時には、校長室で、私と一緒に過ごすこともありました。校長室に来た方たちからも、病気が早く治るようにと優しい言葉をかけていただきました。

周囲の人たちの努力で、少し回復したときもありましたが、チョコに昔の元気が戻ることはなく、やがて自分でえさが食べられなくなりました。チョコが元気になるようにと祈りながらえさをあげたり、体を拭いたりと精一杯の看病をしましたが、チョコは、5月16日に旅立ちました。とても悲しい別れでした。とても辛い時間でした。たくさんの涙がこぼれました。

翌日、たくさんの子どもたちが見送りに集まってくれました。そして、きれいな飾りを届けたり、手紙を添えたり、お小遣いで買った花を供えたり、目を閉じて自分の思いを伝えたりしていました。私は、たくさんの子どもたちの悲しみとともに、たくさんの子どもたちの優しさを感じました。

チョコの命は、亡くなってしまいました。チョコの体は、無くなってしまいました。でも、チョコとの思い出は残っています。

チョコが命をもやして教えてくれたことがあります。それは、「命の儚さと大切さ」「生きる厳しさと生きるための強さ」「元気でいることの嬉しさと楽しさ」です。チョコが私たちと過ごした時間の中で教えてくれたこともあります。それは、「命を守ってくれる人の温かさと頼もしさ」「生きるために支え、助けてくれる人たちの優しさ」と有り難さ」「人と人、人と動物とのつながりが思い出のつながりになり、命のつながりになる素晴らしさと尊さ」です。



## トピック五十嵐

6～7月は学習充実期間です。家庭学習強調週間もありました。落ち着いて学習できる環境づくりに取り組んでいます。

### 3年生になって

#### 3年1組

わたしが、3年生になってがんばっていることは二つあります。一つ目は、友だちをたくさんつくることです。3年生になってクラスがえがあったので、新しい友だちがたくさんできるというなと思いました。自分から話しかけたり、こまっている人がいたらたすけたりするようにしました。そして、なかよしの友だちができました。休み時間に、体育館やおく上でおにごっこをして遊ぶことが一番楽しいです。二つ目は、べん強です。毎日、3年生のもくひょうの30分よりも多くべん強しています。漢字練習や計算がすきなべん強です。3年生になってはじまった、理科や社会、習字、リコーダーを習うのが楽しみです。

これからも、友だちと楽しく学校生活をおくりたいです。

### 3年生になって

#### 3年2組

ぼくは、3年生になって、理科や社会ではどのようなべん強をするかを、初めて知りました。

2年生までは、理科と社会は生活ににていると思っていました。でも、じゅぎょうをうけてみると、そうぞうとちがってびっくりしました。理科ではかんさつして考えを書いたり、社会では東西南北をおぼえて町探検をしたりしました。

新しい教科でおぼえることもたくさんありますが、一生けんめいべんきょうしています。ぼくは、わく星や星、日本のれきしや地図にきょう味があるので、これから理科、社会でべん強できると思うと、とても楽しみです。そして、とく意な教科にしていきたいです。

## 学校の一コマ

### 今4年生では

#### 4学年主任

4年生は、社会や総合の時間に「ごみ」について学習しています。

まず1週間、家のごみ調べをしました。すると、燃やすごみやプラマーク容器包装、古紙が多く出ることが分かりました。

栄養士の本間先生には、給食室から出るごみは、捨てられるものだけでなく、再利用したりリサイクルされたりする物があることを教えてもらいました。

9日には、「ごみ収集車体験」を行いました。新潟市のごみの現状について教えてもらい、収集車の仕組みを見学したり実際にゴミ袋を車に投げ込んだりする体験を通して、ごみを減らす必要性やきちんと分別してルールを守って捨てることの大切さを学びました。

今後は、清掃センターやエコプラザに見学に行ったり、講師をお招きして、ごみを減らす暮らしの工夫について教えてもらったりする予定です。

また、各自がごみ問題について課題を決めて調べ学習にも取り組みます。そして、ごみを減らすために自分たちができることを考え、生活の中で実践する態度を育てたいと思います。

### 給食室から

#### 栄養士

「今日はいっぱい食べてくれたね。」「今日はご飯が残っちゃったね。」このような声が、午後の給食室では聞こえます。給食室では、毎日残食を測定しています。最近は、暑くなってきたせいか、残量が増えました。暑い日に食欲が落ちてしまうのは仕方ないことです。

五十嵐小学校では、一日に約20kgの残食が出ます。これは一瞬多い量に感じますが、1人分に例えるとスプーンに山盛り一杯くらいの量です。一人一人の少しの食べ残しが、全校ではとても多い量となり、捨てられてしまいます。そこで、あと一口！を頑張ってもらいたいと思います。きっと体の健康にもつながります。給食室も、子どもたちがもっとおいしく給食を食べられるよう、日々努力していきます。